**アイキャッチャー・レイアウト**

※　ウェブサイト『レイアウト｜伝わるデザイン』をブラウザで開いておく。

**１．現在の各要素と配置の確認**  
　作成した作品のタイトル，説明文，図・イラスト・写真の分類をし，別紙の上部の枠に四角形や円形などで各要素の全体像を描き，スライド上でどの位置にあり，どれくらいの面積で，余白がどれくらいあるか把握しなさい。

**２．アイキャッチャー**【ジャンプ率】・・・以下の文字のジャンプ率は２倍  
**他の文字との大きさの差の比率のこと。**  
　比率を高くするとインパクトが強くなり，低くするとバランスのとれた印象を与える。タイトルや見出しに使用し，数列のようにある一定の規則に従って比率を調整していくとリズム感を出していくことができる。また，数字と単位の関係では，単位を数字より小さくすると読みやすくなる。  
【図形（特に，大きい円形がよい）】  
　配置されるものの多くが四角形の中で，円形は目を引くものになる。  
特に，ギザギザの縁取りにするとより効果的になる。  
【イラスト・画像】  
　瞬時に理解しやすく，アイキャッチャーとしての効果は強い。イラストや画像の向きによって，閲覧者の視線を誘導できる。また，人の顔の写真（イラストは不可）を表示すると，より注目されやすい。

**３．レイアウト**【閲覧者の視線】  
　基本的に横組みでは左上から右下，縦組みでは右上から左下へ視線は移動していく。視線を意図的に操作するためには，アイキャッチャーと各要素の配置が重要である。  
【揃える（グリッドシステムの活用）】  
　別紙の下部の枠に縦方向と横方向に分割した均一の格子に，形を揃えて各要素を配置していく。ただ同じ形で位置を揃えていくだけでなく，左右対称の配置，上下に視線が動いていくような配置，ジャンプ率のように要素の大きさを変更する配置，要素を規則的に傾かせていく配置等，パターンを繰り返してリズム感を出すことで，閲覧者の視線を誘導することができる。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | |  |  |  |
|  | |  |  |  |  |
|  |  | |  |
|  |  | |  |  | |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | | |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | |  |
|  |
|  |  |  |
|  |  |  | | |
|  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  | | | |

　　　『左右対称の配置』　　　　　　　　『上下に動きのある配置』

　　『規則的に大きさを変更する配置』　　　　『規則的傾きのある配置』  
【まとめる】  
　要素ごとに関係性のあるものを近くに配置したり，色や全体像（形）を似させたりすることで，内容を把握する前に類似性を認識させることができる。また，その逆をすることで対比感を出すことも可能である。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  | | |
|  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |

**４．余白**　余白は上記の「グリッドシステム」による配置の補助として，閲覧者の視線を誘導する境界線のような働きをもっている。また，ゆったりをした余白を設けることで余裕と豊かさを感じさせ，落ち着きある大人の印象を与える。  
  
  
※　灰色部分が余白を示す　　『余白に視線の誘導』　　　　　　　『余裕のある余白』

**５．その他**　４．余白　で境界線をつくる方法を示したが，枠線（直線）や図形の塗りつぶしによって，各要素との境界線をはっきりさせる方法もある。ただし，その場合は煩雑な印象を与えないよう必要最低限の量とし，図形においては枠線と塗りつぶしを併用しない（枠線と塗りつぶしのどちらかを「なし」に設定する）。

**６．実習**　別紙の下部のグリッドシステムの枠を使用して，各要素の大きさ，配置を考え直し記入しなさい。その後，作品の変更をしましょう。

**作品の各要素と配置**

|  |
| --- |
|  |

**グリッドシステムを利用した配置**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

　　　　　　　　　　　１年　　組　　　番　名前